

285億1,000万円の主な使い道

- 協働による自治へ** 12,869万円
 (まちづくりやコミュニティ活動の活性化による住民自治の充実強化)
 地域振興補助金 7,000万円
 地域委員会費 699万円
 自治会運営費補助金 2,186万円
 自治会集会所建設費補助金 1,223万円

- 定住環境の充実** 345,296万円
 (生活基盤の整備と特色あるまちづくりの推進)
 市営バス運行事業費 17,384万円
 CATV事業運営負担金 34,400万円
 道路整備事業(交付金・起債等)33路線 129,034万円
 まちづくり総合支援事業(大東・木次地区) 51,566万円
 出雲大東駅周辺整備事業 23,400万円
 まちづくり交付金事業(木次・吉田地区) 44,785万円



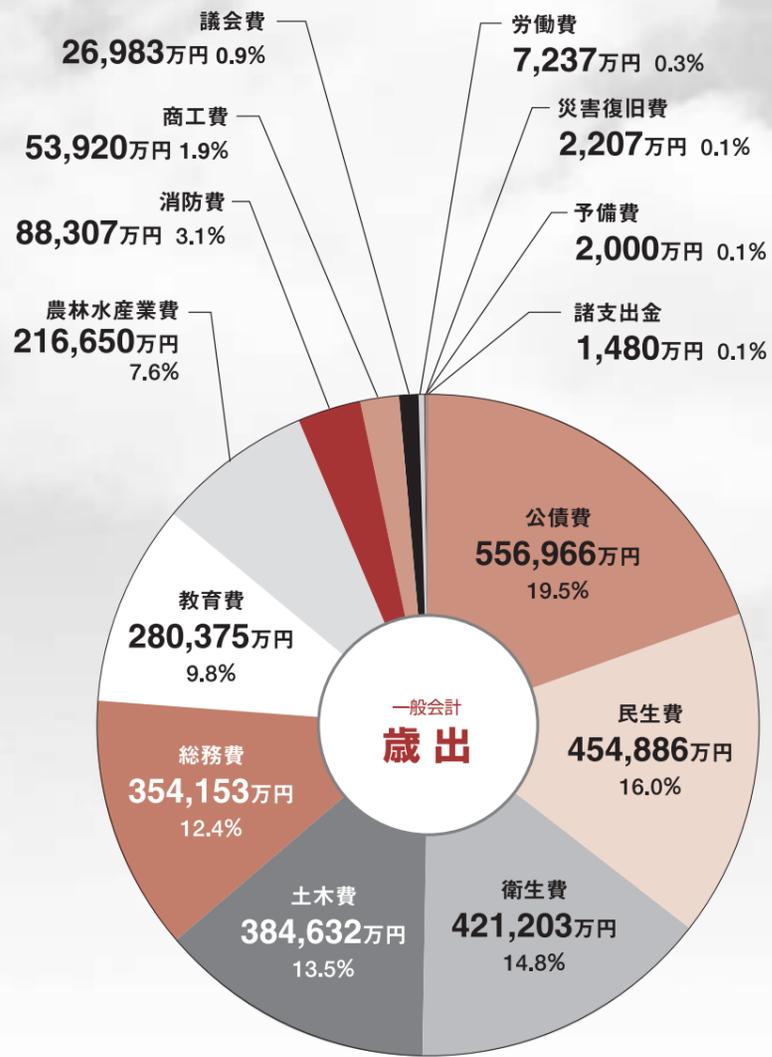
まちづくり交付金事業による整備

- 安心生活の創造** 206,112万円
 (いきいき健康長寿の推進と子育て支援の充実)
 雲南市シルバー人材センター補助金 850万円
 生活保護扶助費 24,744万円
 病院群輪番制病院運営事業補助金 3,300万円
 加茂幼稚園運営事業 6,197万円
 児童扶養手当事業 7,985万円
 生きがい活動支援通所事業 5,534万円
 老人福祉施設管理費 15,736万円
 身体障害者施設訓練等支援費 15,535万円
 知的障害者施設訓練等支援事業 41,669万円
 健康診査事業 8,584万円

- 人が輝く教育・文化** 51,379万円
 (よりよい教育環境の創造と生涯学習活動の推進)
 掛合統合小学校建設事業 3,450万円
 海潮幼稚園建設事業 22,552万円
 生涯学習センター整備事業 7,582万円
 小規模市町村教育委員会広域化モデル事業 401万円
 加茂岩倉遺跡周辺整備事業 7,547万円

- ふるさと産業の創造** 129,028万円
 (自立型地域経済圏の確立に向けたふるさと産業の創造)
 畜産担い手育成総合整備事業 7,996万円
 草地林地一体的利用総合整備事業補助金 8,276万円
 中山間地域直接支払制度交付金 34,000万円
 産業振興センター事業 2,625万円
 森林整備地域活動支援交付金 9,665万円
 公社造林受託事業 13,114万円
 商工業活性化支援対策事業補助金・ 5,533万円
 商工業振興補助金
 小規模企業育成資金対策事業 7,650万円
 観光施設整備事業(海潮温泉、八重滝遊歩道) 3,336万円

雲南市では市民向けの予算説明書(仮)を全戸に配布する予定にしています。

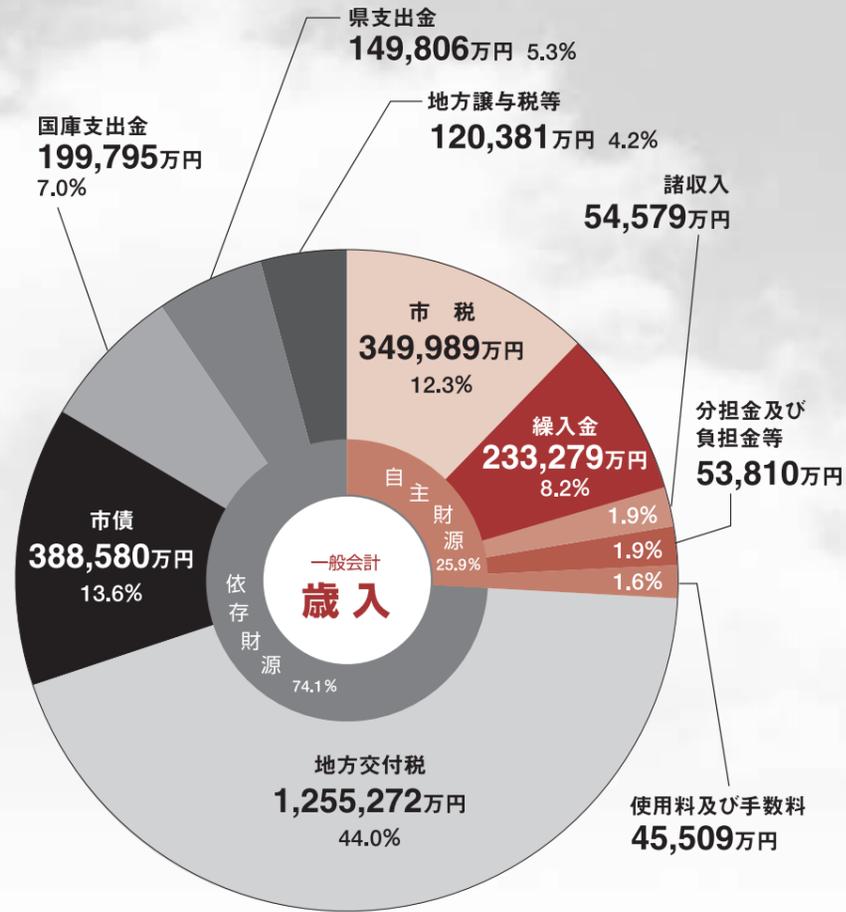


特別会計

(単位:万円)

会計の名称	平成17年度予算	前年度予算	増減率	
国民健康保険事業	事業勘定分	369,030	357,068	3.4%
	直診勘定	20,820	26,375	△21.1%
老人保健事業	598,150	573,743	4.3%	
農業労働災害共済事業	11,100	5,600	98.2%	
簡易水道事業	122,550	84,662	44.8%	
生活排水処理事業	361,250	390,912	△7.6%	
幡屋財産区	93	90	3.3%	
阿用財産区	236	70	237.1%	
ゆとりの里事業	4,920	4,680	5.1%	
土地区画整理事業	44,150	53,180	△17.0%	
ダム対策事業	3,647	2,679	36.1%	
発電所事業	1,540	2,680	△42.5%	
清嵐荘事業	3,100	13,704	△77.4%	

一般会計当初予算 285億1,000万円



市民1人あたりの予算額
 (平成17年3月1日現在の人口で除したもの)
619,608円

特別会計
 一般会計と区別して処理する会計として特別会計があり国民健康保険事業、老人保健事業など12の特別会計があります。各特別会計は、単純合計で153億円であり、旧大東町の町民ケープル事業特別会計など業務が一部事務組合へ移ったものもあり、合計で対前年1億1,000万円(0.7%)の減となりました。

歳出
 まちづくり総合支援事業、中山間地域等直接支払制度交付金事業などの継続事業に加え、地域振興補助金事業、海潮幼稚園建設事業、加茂岩倉遺跡跡跡整備事業などを新規事業として計上しています。
 また、財政健全化の一環として、人件費の削減(特別職10%カット、管理職手当15%、8%を8%、4%に削減、普通建設事業の圧縮(対前年△38.1%)、補助費等の見直しを図っています。

歳入
 みなさんから納めていただく市税(市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税)は、349,989万円。市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県から入ってくる補助金などの依存財源は、2,113,834万円となり、前年比(旧6町村当初予算単純合計)で7.85%の減となりました。その内、地方交付税(市町村の税収入格差を調整するため国から交付される交付金)は、同じく前年比で10.4%増となりましたが、市債(市の借入金)は36.3%の減となりました。

一般会計
 私たちの生活に最も関わり合いの深いのが一般会計です。平成17年度雲南市一般会計当初予算は、厳しい財政状況から投資的経費の約4割減などにより、総額285億1,000万円、前年度旧6町村当初予算単純合計(316億3,000万円)と比較し、9.9%減となっています。また、収支不足分23億3,000万円は減債基金等からの繰入れで補っています。

平成17年度
雲南市
予算概要

雲南市の初年度における予算編成は、市民と行政が市民活動を促進し、連携による協働のまちづくりをすすめていくことに重点を置いています。そのまちづくりをすすめるため、新たに盛り込んだ特徴的な施策として、地域委員会の設置や地域振興補助金、産業振興センター事業、身体教育医学研究所設置準備事業などがあります。

平成17年度予算について